

Special Feature

特集

9月1日は防災の日であり、元日に発生した令和6年能登半島地震が記憶に新しいいま、老健施設の災害対策を改めて考える。

災害支援においては情報連携がかなめの1つとなる。厚生労働省が構築した災害時情報共有システムについて、厚労省の老健局高齢者支援課の坂野泰之さんと田中匡さんにご紹介いただいた。また、元日の地震で全老健と連携して支援を行った全老健石川県支部の中嶋頭一さんと大川明さんに話をうかがった。最後に、本誌7月号でレポートした能登半島地震の被災地について、改めて現地を訪れ、復興の現状を緊急レポートする。

老健施設の災害対策



インタビュー
**災害時情報共有システムの有効活用に向けて
D24Hで情報連携へ**

坂野泰之さん
厚生労働省老健局高齢者支援課 課長補佐
田中 匡さん
厚生労働省老健局高齢者支援課 施設係 係長



インタビュー
**石川県支部と全老健対策本部が密に連携
迅速な情報共有が大事**

中嶋頭一さん
全老健石川県支部 事務局長、医療法人社団仁智会 金沢春日ケアセンター総務部 部長
大川 明さん
全老健石川県支部 元事務局長、医療法人社団仁智会 金沢春日ケアセンター 居宅療養部 部長

緊急レポート
**写真報告2
能登半島地震発災から半年を超えて**

